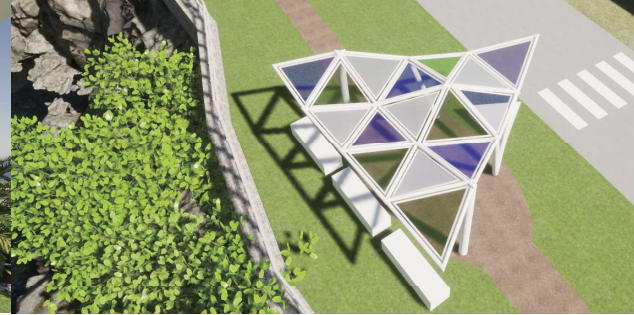
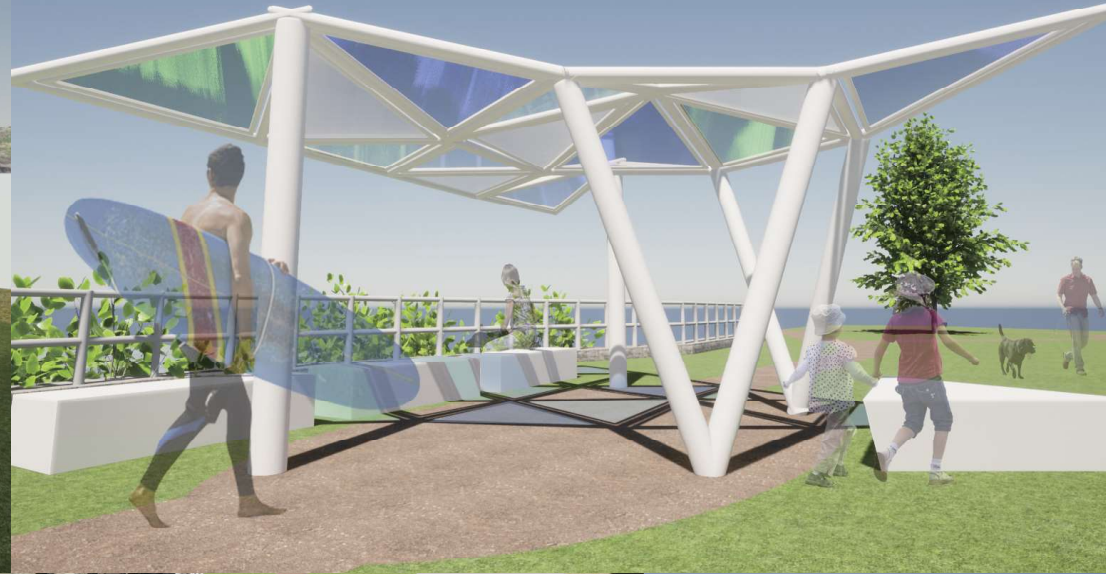


ジョン万次郎の軌跡をたどる Compass



大度浜海岸（ジョン万ビーチ）について

干潮時には美しい珊瑚礁の海でイノー観察を楽しむことができる自然の海岸「大度浜海岸」はジョン万次郎がアメリカから帰国する際に上陸したことから「ジョン万ビーチ」とも呼ばれ、地元民や観光客から親しまれているビーチです。

羅針盤をモチーフにした建築

海洋技術、英語、外交。日本の様々な発展に貢献したジョン万次郎。

氏の偉大なる航海。その象徴と言える「羅針盤」を三角形で表現する着想に至りました。

「羅針盤」が示す先。その方角を見つめ、氏の軌跡に想いを馳せたい。



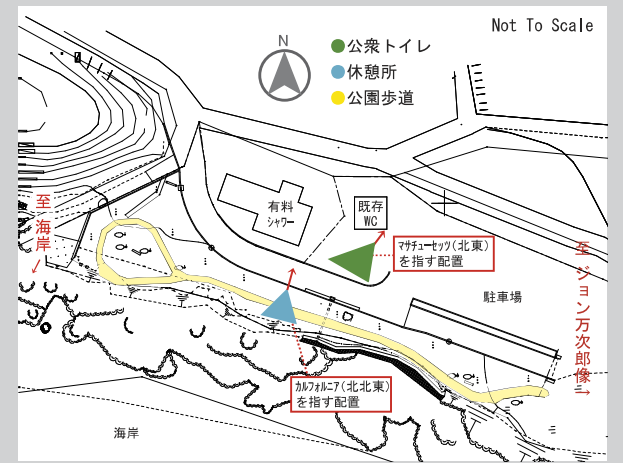
配置計画

● 公衆トイレ

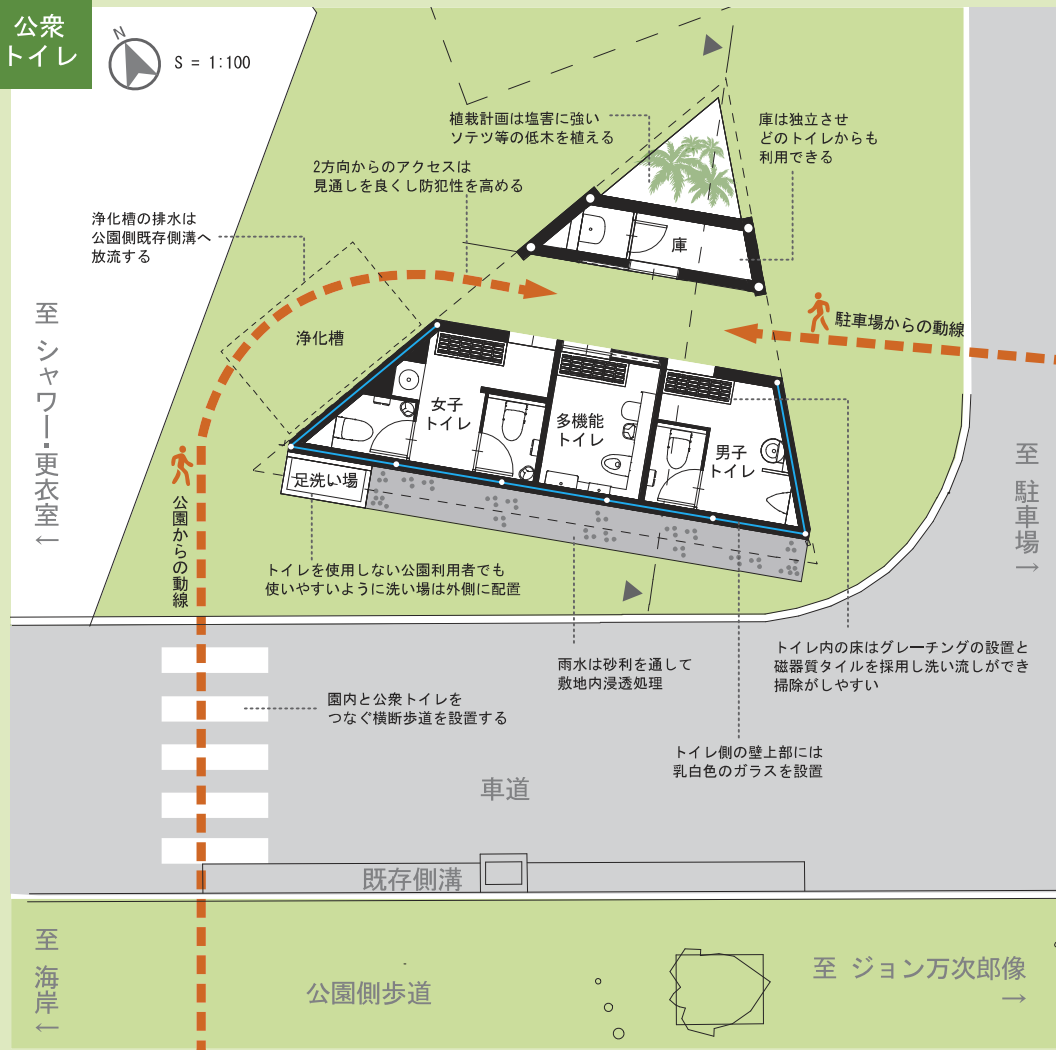
現状の駐車場と公園内歩道の間地点に配置することで、公園を訪れた人々が車に戻る際にトイレや足洗い場を利用しやすい動線をつくり、また高齢者・障がい者等の円滑な移動等にも考慮しアクセスしやすいように急な勾配や段差をつけない計画とします。またトイレのような壁のある建物を海岸沿から離す事で園内のどの箇所からも海を眺められる景観に配慮した計画とし、建物はジョン万次郎が学業に励んだマサチューセッツの方角（北東）を指すように配置します。

● 休憩所

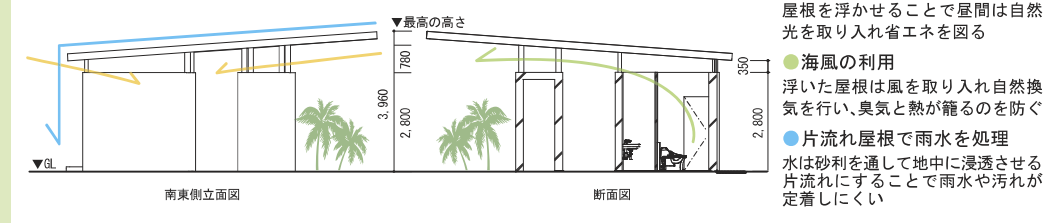
現状の休憩所撤去後に同じ場所に計画を予定しています。休憩スペースから海を眺めることができ、散歩をする人やレジャーを楽しむ人々の通り道にあることで人々の交流が生まれるような空間づくりを目指します。休憩所が向いている方角はジョン万次郎が金の採掘に携わった土地、カルフォルニア（北北東）を指すように配置。



公衆トイレ



断面・立面図 S= 1:150

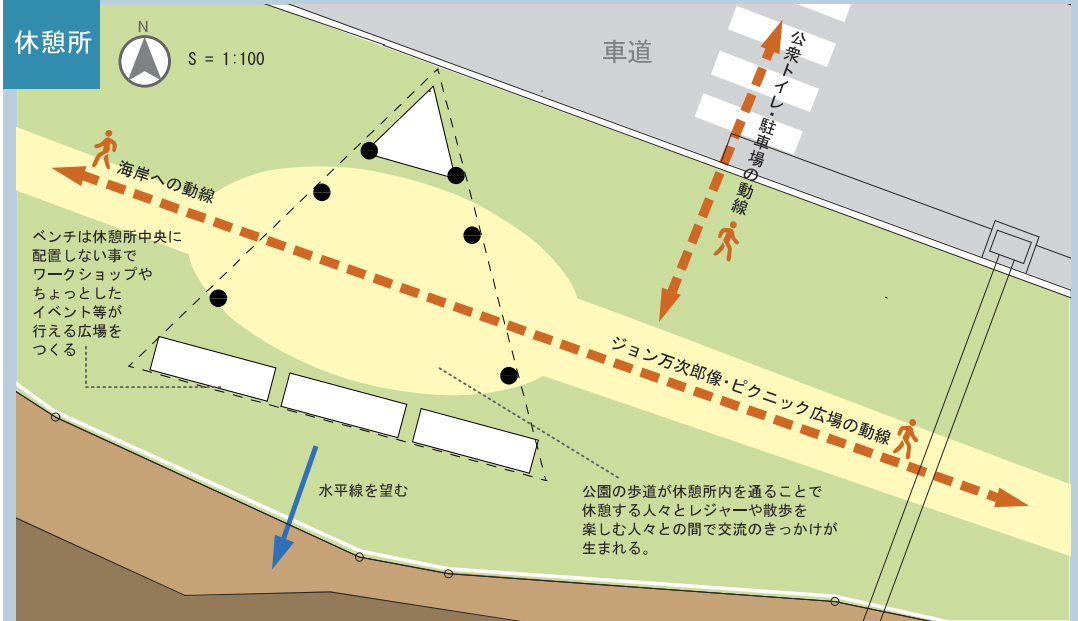


構造計画

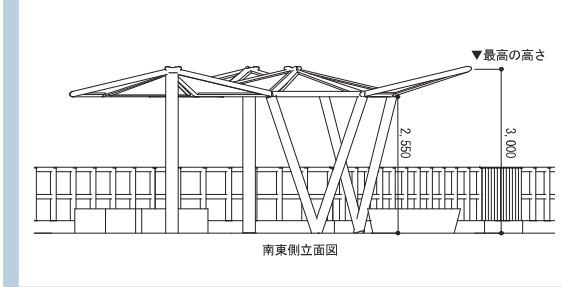
- 壁はRC造+落書き防止塗料(ダイトレックス)とし、汚れやいたづらを防止します。
- 屋根はアルミパネルにアルマイト処理を施し硬度・耐食性・軽量化を図ります。
- 特殊な素材を利用しない事で県内で調達、施工できるようにしコスト削減に努めます。

Date	延べ面積: 25.6㎡	壁: RC造+ 仕上げ落書き防止塗料(ダイトレックス)
	屋根伏せ面積: 46.13㎡	屋根: アルミパネル(アルマイト処理)
	男子トイレ: 7.13㎡	トイレ窓: 合わせガラス(乳白色)
	多機能トイレ: 5.40㎡	トイレ部分床: 磁器質タイル
	女子トイレ: 9.36㎡	基礎: ベタ基礎
	倉庫+SK: 3.71㎡	
	内部床面積計: 25.6㎡	

休憩所



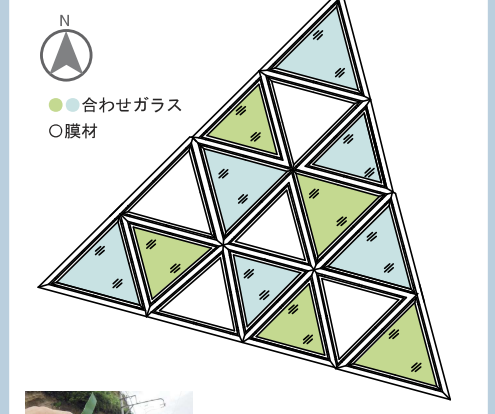
立面図 S= 1:100



構造計画

- 鉄骨造を採用する事で壁や太い柱梁を無くし、海の景観を邪魔しない軽やかな建物ができます。軽量な建築物は基礎への負担を減らし、工期も短縮できることからコスト削減へ繋がります。
- 柱部分はCFTを採用しあらゆる方向の力に対してバランスよく耐力を発揮。
- 仕上げは溶融亜鉛メッキ+りん酸亜鉛処理+焼付塗装(エポキシ系)を施し塩害による錆、劣化や汚れを防止します。
- 屋根部はカラーフィルムを入れた合わせガラスと膜をランダムに配置し空間に影・光・彩りをつくります。

屋根伏図 S= 1:100



ガラスの色は現地でカラーチップを使い海と樹木の色に近い色を選定

Date	延べ面積: 29.80㎡	柱: CFT造/屋根: 鉄骨+合わせガラス(カラーフィルム入)+膜材
	塗装: 溶融亜鉛メッキ+りん酸亜鉛処理+焼付塗装(エポキシ系)	
	基礎: 布基礎	

将来の動線計画について

現在の公園内では駐車場から海岸に降りるまで距離があり、また海岸付近の道は経年劣化も激しく年配の方や車椅子の方には海岸へ降りるのが困難に思えます。そこで、将来的には歩道の補装と海岸に降りるための階段又はスロープを設置し、休憩所付近からは階段を新たに新設した駐車場から海岸までのショートカットができる動線計画を提案します。

